



読者の皆様へ

自動車開発の世界に身を置く私たちにとって関心の多くは未来に向けられています。本号のRealTimesでは敢えて過去の出来事にも焦点を当てます。その理由は、本号を読み進めていただければおわかりいただけるでしょう。

ETASは自動車業界の未来を見据え、車載ソフトウェア開発の新たな世界を切り開いています。カーエレクトロニクスは現在、かつてないほどのスピードで進化を遂げています。コネクティビティと自動運転の大きな潮流の中で、まったく新しいE/Eアーキテクチャや開発プロセスが求められています。マイクロプロセッサを搭載し、AUTOSAR Adaptive規格に準拠した強力な「ビークルコンピュータ」が従来のマイクロコントローラを用いたECUを補完し、時には取って代わろうとさえしています。このダイナミックな変化を皆様とともに形作っていきたく、私たちは考えています。

このエキサイティングなクルマ未来予想図を現実のものにするために、ツールやソリューションを開発者に提供するのがETASの使命です。本号では、ETASが提供しているRTA-VRTEプラットフォームソフトウェアフレームワークやISOLAR-A_ADAPTIVEアーキテクチャ設計ツールといった革新的なソリューションをご紹介します。

さらに、将来対応型テストシステム、燃料電池システムのシミュレーションモデル、膨大なデータをすばやく検索する方法など、未来の車両開発における興味深い諸側面に光を当てていきます。

しかしETASの興味は未来の話にとどまりません。MDA V8、INCA-FLOWといった定評ある既存製品や、SCODEツールの採用事例なども取り上げます。これらの記事も、非常に興味深い内容となっていますので、ぜひお手にとってみてください。

ETAS設立25周年にあたる2019年は、創業時の精神に立ち返る機会に恵まれ、ETASにとって意義深い1年となりました。私たちはこの25年間の成功を誇りに思うとともに、お客様とパートナーの皆様なくしては、これらの成果はありえなかったことを改めて認識しました。25周年記念ページをご覧になり、一緒に当社の歴史を振り返っていただければ幸いです。

最終章は企業戦略としての自動車セキュリティ、ハイブリッドビークルネットワークの保護、AUTOSARセキュリティなどをテーマとしたESCRYPTの特集です。未来の自動車社会に欠かせない「セーフティネット」についてご紹介していますので、ぜひご一読ください。

自動車開発の歴史と展望の両面を特集した本号を、お客様にお届けできることを誇りに思うとともに、四半世紀にわたる皆様の信頼とご愛顧に心よりお礼を申し上げます。「熱い心はそのままに」のモットーを胸に、次の25年の始まりに乾杯！

Friedhelm Pickhard Bernd Hergert Christopher White

左から：
Christopher White
営業部門 取締役副社長
Friedhelm Pickhard
代表取締役
Bernd Hergert
オペレーション部門 取締役副社長